

自治会連合会 令和5年度 4月度 役員会議事録（敬称略）

日時：令和5年4月8日（土）10時3分～11時12分 その後事務所で自治連資料袋詰め

会場：中央文化センター 4階 第1会議室

出席者：15名 志水、山岡、筒井、谷本、椋田、林田、川辺、久保寺、芝、田中、植木、塩坂
山上、福田、山田

書記：芝 喜久子

司会進行：谷本事務局長

議題：1、会長挨拶 志水自治連会長 さくらまつりが雨天の中で開催された。近くの小学校の入学式に出席したが1クラス30名程度の3クラスの編成で、マスク着用が多かった。本日は議題が多く審議を宜しく願います。

2、報告事項

1) 東京都地域の底力事業助成について 前年同様の助成金制度で申請が簡易に
・関東大震災100年事業助成についてはまだ明確な内容を提示されてなく
今月下旬にHPで確認してください。

2) 自治振興委託料説明会実施（6箇所）について

・白糸台文化センター圏域⇒自治連に加入の自治会が出席 自治連の活動を紹介
・四谷文化センター圏域⇒4自治会が出席 回覧がデジタル化になると自治振興委託料が無くなりほしくないかが心配だとの声有り。

・武蔵台文化センター圏域⇒20名出席（圏域の1/3）も新会長が多数で地域の底力助成事業や自主防災連絡会の説明で興味を示す会があった。

・押立、是政、中央文化センター圏域⇒自治連への加入促進と各種助成金の説明、報告を行う。回覧のデジタル化による委託料の廃止が不安。委託料の申請書類で印鑑を押す、押さないが不明確。印鑑の廃止へ向かっている様子。

3) 自治連ニュース NO29 配布について 仕分けの協力依頼

4) その他 令和5年度の講師おまかせスマホ教室開催団体募集の説明 20万円以内で助成金有り 発災時の安否確認をスマホアプリで可能になる→府中の震災状況がわかるシステム トランシーバー活用をパトロールの際に使用等説明

5) 自治会回覧作業（自治連ニュース） 会議終了後に袋詰め実施

3、審議事項

1) 令和5年度 年間スケジュール 修正について

・見学会（視察研修会）実施で自治連の持ち出しが増額している 3部会全ての実施は難しい。生活安全対策部6月の国際消防防災展への見学会は市のバスを借りての実施する予定で、環境対策部と福祉対策部の見学会は各自で参加 都内の危機管理は消防のOBが24時間常駐で統括も府中市は危機管理の職員のみ。

2) 第55回（令和5年度）定期総会開催方法について

・6月18日開催 以前のような形式で集合開催

3) 各部の事業執行と今後の取り組みについて

・自治連の予算がここ数年減少しており年に3回の視察研修は難しい。6月15日の研修は推奨。

4) 令和4年度決算案、令和5年度予算編成について

- ・決算案別紙 各部からの予算案を今月中に提出

5) その他

- ・市長懇について各部からの要望、質問をお願いします。また各自治会からの要望についてはメールでの返信が少なく、デジタル化へ移行中であるが故の結果ととらえているものの、来年以降もデジタル化への変化が増大するものと予測される。

- ・自主防災連絡会の活動について 各圏域で活動のレベルの差異が有り、また圏域ごとの意識にも差がある。活発な圏域では行政に頼らない形で活動を続けている。全体を見ると1/3は活動しており、1/3は会長などの中心人物が1年ごとに交代しており活動が途切れてしまう。残り1/3は無関心である。例として西府圏域では消防委員を中心に自治会、学校、包括センターを交えて組織化し、どう活動していくか具体化している。但し、消防団は除いている。自治会によっては防災倉庫などを所有しているところと、全く持てない自治会も有る。そういったことを踏まえ地域の特性をしっかりと認識して組織化すべきと思える。分梅9町会や小柳5町会は確固たる防災組織を立ち上げている良いお手本と言える。

行政側の言い分は地域の自治会が全部入会しないと自主防災組織とは名乗れないという判断がネックになる。等の意見が続出しました

4, 今後の会議予定

- 1) 5月13日(土) 役員会・常任理事会 中央文化センター
- 2) 5月28日(日) 地域市民の集い(中央圏域) 中央文化センター
- 3) 6月3日(土) 役員会 中央文化センター
- 4) 6月18日(日) 第55回定期総会 コンチネンタルホテル

会	長		事務局長		総務部長	
---	---	--	------	--	------	--